

# 自己点検・自己評価

鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

自己点検・自己評価  
評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1

①課題

少子化の中で将来構想に対する投資効果に不安がある

②今後の改善方策

教職員の意識高揚を図っていく

## (2)学校運営

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4	③	2	1
・意思決定システムは確立されているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

### ①課題

意思決定のスピード化という点で課題がある

### ②今後の改善方策

教職員で情報の共有化を図っていく

(3)教育活動

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課題の編成・実務方針等が策定されているか	④	3	2	1
・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
自己点検・自己評価	4	③	2	1

①課題

外部からの声を教育活動に生かできていなかった

②今後の改善方策

平成26年度から意識的に外部の声を取り入れていく

(4)教育成果

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

①課題

卒業生に対して、情報が得られにくい  
また、退学率低減については学生の質の向上化を図らないと歯止めは難しい

②今後の改善方策

外部からの声を生かして卒業生情報を得ていく

(5)学生支援

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

自己点検・自己評価

[ ]

②今後の改善方策

[ 国の学生に対する経済支援に期待する ]

(6)教育環境

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

学生の社会的経験不足により実習等で若干の問題が出る

②今後の改善方策

教員の実習施設訪問等により問題を解決していく

(7)学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、 不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

情報公開を一層進める

H25年度 消費支出計算書

単位:千円

支出の部		収入の部	
科目	決算	科目	決算
人件費	43,272	学生生徒等納付金	80,047
経費	76,633	手数料	462
借入金等利息	1,470	補助金	2,054
		資産運用収入	3
		事業収入	39,992
		雑収入	5,811
		帰属収入合計	128,370
		基本金組入額	△ 14,787
消費支出の部合計	121,376	消費収入の部合計	113,583
当年度消費支出超過額	7,792		
前年度繰越消費支出超過額	257,882		
翌年度繰越消費支出超過額	265,675		

H25年度 資金収支計算書

単位:千円

支出の部		収入の部	
科目	決算	科目	決算
人件費	43,272	学生生徒等納入金収入	80,047
経費支出	64,251	手数料収入	462
借入金等利息支出	1,470	補助金収入	2,054
借入金等返済支出	16,278	資産運用収入	3
施設関係支出	490	事業収入	39,992
設備関係支出	728	雑収入	5,811
その他の支出	97,415	借入金等収入	5,000
		前受金収入	43,436
		その他の収入	95,667
資金支出調整勘定	△ 3,749	資金収入調整勘定	△ 53,656
次年度繰越支払資金	25,359	前年度繰越支払資金	26,698
支出の部合計	245,516	収入の部合計	245,516

H25年度 貸借対照表

単位:千円

資産の部		負債の部・基本金の部	
科目	決算	科目	決算
固定資産	144,319	固定負債	33,028
流動資産	109,442	流動負債	75,071
		基本金	411,337
		翌年度繰越消費支出超過額	△ 265,675
資産部合計	253,761	負債の部・基本金合計	253,761